



元気通信

ブダペスト日本人学校

学校だより

平成27年10月30日号

【避難訓練を終えて】(防災安全担当 佐々木)

10月8日(木)に2回目の不審者侵入時における避難訓練を行いました。今回は12区の警察の方と大使館の隅田様の協力のもと、全員が職員室に速やかに避難する訓練をしました。現地警察の方のお話では、「ハンガリーには学校の子どもを狙う犯罪はほとんどないが、もし何かが起こった時に大切なことは、『パニックにならずに落ち着いて行動すること』」というお話がありました。もしもの時に正しい判断ができるよう、訓練をしておくことが必要なことを改めて感じました。



【進路説明会】(進路指導担当 太田)

先月の進路希望調査をもとに、中学部では進路説明会を下記の通り開催いたします。中学部の保護者の皆様には、既にご案内しておりますが、小学部の保護者の方でもご希望があれば参加していただくことができます。その場合、資料を追加で準備いたしますので、11月3日(火)までに担任にお申し出ください。主な内容は、「日本国内での受験を踏まえて」と「アメリカンスクールのガイダンス」となっております。

1 日時 11月 5日(木) 14:30~15:40

2 場所 図書室



【学級懇談を終えて】(学級担任一同)

保護者の皆様におかれましては、お忙しいところ授業参観および学級懇談会においでいただき、ありがとうございました。今回の懇談会で話し合った内容を今後の学級経営にいかしていきたいと考えています。これからも保護者の皆様と学校が協力し合い、子どもの健やかな成長をともに見守っていければと思います。

【ホットランチ感想】(PTA担当 吉田)

10月9日(金)にPTAによるホットランチがありました。全校児童生徒(職員も)が待ちに待ったカレーライスをみんなでおいしくいただきました。PTA役員およびお世話係の方々に厚くお礼申し上げます。児童生徒の感想を一部ですが紹介します。来年度もよろしく願います。

○ホットランチはおいしかったのがわかっていたのでたのしみでした。たべたらやっぱり

「うわあ!さいこう。」というきもちになりました。(小1 柿迫愛実)

○たくさんおかわりをして、みんなおなかがいっぱいになりました。毎週金曜日が、カレーの日だといいなあ。作ってくださってありがとうございました。(小3一同)

○カレーの野菜やお肉がちょうどいい大きさに切ってあって、とても食べやすかったです。あと、みんな笑顔でおしゃべりしたり、おかわりをしたりして、とても楽しそうでした。次回のホットランチも笑顔でみんなとおしゃべりをしてホットランチの時間を過ごしたいと思いました。(小5 佐脇彩夏)

○ホットランチをととても楽しみにしていました。お母さんたちの作ってくれたカレーはとてもおいしかったです。また食べたいです。(ドナウ 吉田彩乃)

○前日からたくさんのお母さん方が、このホットランチの為に集まり、準備してくださっていたのを見かけました。図書室の本が汚れないようにとビニールをすべての本にかけるのはとても大変な作業だろうと思いました。本当にありがとうございました。うちのクラスでは、おいしいカレーのおかげで、みんないつも以上の笑顔で、話にも花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。(中1 木村優菜)

【藪下さん、お元気で】(教職員一同)

本日をもって、小学部5年生の藪下直希さんと小学部1年生の藪下莉来さんが転出をします。最後の朝会では、全校の前で笑顔いっぱいであいさつすることができました。ブダペスト日本人学校での思い出を胸に、新天地でも前向きに挑戦して、「一歩先へ!レベルアップ」してくれることを願っています。お元気で!!



【生活科・総合的な学習での取り組みの紹介】(各学年団担任)

前号に引き続き、これまでの生活科や総合的な学習の時間に、それぞれの学年団が取り組んできた活動を紹介します。今回は小学部3・4年およびドナウ学級と小学部5・6年です。

(小3・4・ド) 総合では、仕事の「良さ」や、仕事に就くために「必要なこと」を追求する学習をしています。これまでに子どもたちは、子ども鉄道員にインタビューをしたり、WTCCで活躍するレーサーのミヘリスさんや舞台俳優のマーティーさん



のお話を聞いたりして、課題と向き合ってきました。子どもたちが、このハンガリーで生きる人々と直接触れ合い、対話し、その考え方に触れる機会となったことは、国際理解教育という観点で見ても充実した活動になったと考えています。

子どもたちが見出したことは、今度のドナウ祭で、「学習発表会」という形で保護者の方々にもご報告させていただきます。どうぞお楽しみにいただければと思います。(甘利大紀)

(小5・6) 1学期の総合では、ハンガリーの生活や文化について興味を持ったことを調べ、まとめる学習を行いました。その際、マチョー刺繍についてまとめている子ども達が数名いました。そこで2学期に、マチョー文化保存会のゼレイネー・パップ・ベルナデットさんをゲストティーチャーとしてお招きし、マチョー刺繍の歴史やモチーフ、色などについて詳しく教えて



いただきました。子ども達は実際に刺繍が施された布を観たり、それを触れたりすることができたおかげで、刺繍の色合いやモチーフの豊かさなどに驚いていました。また、事前に“自分が知りたいこと”をまとめており、お話の中では聞けなかったことをハンガリー語で質問をすることができました。今回の学習では、ハンガリーの伝統文化について知り、体感し、そしてコミュニケーションをはかるなど、実り多い時間となりました。(林田耕司)

【授業研究④ 中学部…道徳】(中学部2年担任 太田 教科領域主任 甘利)

今回、中学部の道徳授業では、「働く意義」について考えました。中学部全体としては、夏期合宿やふれあい大運動会などを通して、少しずつ集団としてのまとまりが出てきたと思いますが、委員会活動や係活動、清掃活動においては、義務感から動いている生徒もいました。

そこで、「働く」ということは、どういうことなのかを改めて考えるきっかけを設けました。実際に職に就いたことがない中学生にとって、仕事について深く考えることは難しいかもしれないと予想し、本授業では以下のような工夫しました。

- ①12の「価値観ワード」(「人間関係」「安定」などのように仕事をする際に大切にするもの[言葉])を使うことで、自分の意見を表現しやすいようにした。
- ②実際に仕事をしている大人の声(映像資料や身近な大人の仕事に対する考え方)を紹介し、それらを参考にさせた。

このように、自分なりに働く意義を考え、さらにそれをグループで話し合うことで他の人の仕事に対する考えも知ることができました。(太田晋輔)

佐々木実践を受け、グループ学習の効果的な運用方法を検証した1時間でした。今回は、グループ学習において、大きく分けると二つの工夫をしました。

- ①自分の立場をはっきりさせた上で話し合わせること(価値観ワード)
- ②話し合いのまとめ方に条件をつけること(グループで3つにしぼる)

特に①の工夫については、効果的でした。価値観ワードのおかげで、お互いの考えの違いがはっきりわかり、「なぜ違うのか」という理由の部分に着目した話し合いができました。②の工夫については、一定の成果がありました。グループで3つにしぼるという条件をつけたことで、互いの価値観を主張し合い、よりよい価値観を自ら選択しようとする姿勢が生まれました。

一方で、「3つにしぼること」は、話し合わせるための教師のしかけであって、子どもにとっては、「3つにしぼる」理由がありませんでした。したがって、自分の価値観を人に話すことに抵抗感を覚える子どもや、自分の価値観に最後まで固執してしまう子どもの姿も話し合いの中では見られました。

新しいことを学ぶために「話し合う」ことは大切なことですが、それは教師にとっての必然性であり、子どもにとっての必然性になっていないことが、今回の大きな課題でした。次回、仲川実践(6年道徳)では、子どもにとっても必然性のある「話し合い」をどのように生んでいくのか。この部分をしっかりと検証していきます。(甘利大紀)